

# 糖尿病重症化の予防

今回は日本糖尿病学会・日本内分泌学会・日本病態栄養学会専門医の松浦文三院長に「糖尿病重症化の予防」について伺いました。



▲松浦 文三 院長

があります。今回は特に①について説明します。

腎臓病が悪化すると最終的には透析をしなければなりません。早期発見のためには、血液検査

糖尿病治療の目標は、生活の質（QOL）を維持しながら、糖尿病のない人と同じ寿命を全うすることです。そのためには、糖尿病の合併症・併存症の出現や進行を防ぐことが重要です。

寿命やQOLを損なう主な合併症・併存症には、①糖尿病関連腎臓病、②脳卒中や心筋梗塞、③心不全、④転倒・骨折など

／*g e r* 以上になれば、*e G F R* が大きく低下

する危険性が高まります。塩分過剰摂取や脱水も *e G F R* の低下に大きく影響します。

*e G F R* (推算糸球体濾過量) を調べます。これが1年間で5以上低下するようであれば、5年以内に透析に陥る危険性が高くなります。

*e G F R* が最終的に10になると透析が必要で

また尿検査でアルブミン尿(通常の尿蛋白検査では調べられませんが)を測定し、300mg

現在、強力な腎保護作用を持つお薬で早期治療を開始すると透析が必要になる時期を遅らせることが可能になります。

かかりつけの糖尿病専門医とともに治療し、合併症・併存症を予防・管理して糖尿病のない人と同じ寿命とQOLを目指しましょう。



社会福祉法人  
恩賜財団 済生会今治第二病院

今治市北日吉町1丁目7番43号

<https://www.imabari.saiseikai.or.jp/site/saiseikai-imabaridaiz/>

☎0898-23-0100

